

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

新関西国際空港株式会社（証券コード：-）

【据置】

長期発行体格付	A A
格付の見通し	ネガティブ
債券格付	A A
発行登録債予備格付	A A

関西国際空港土地保有株式会社（証券コード：-）

【据置】

長期発行体格付	A A
格付の見通し	ネガティブ
債券格付	A A

格付事由

- (1) 新関西国際空港株式会社（新関空会社）は国が全額出資する特殊会社であり、関西国際空港（関空）、大阪国際空港（伊丹）の滑走路、旅客ターミナルなどを保有する。関西国際空港土地保有株式会社（土地保有会社）は新関空会社の唯一の連結子会社であり、保有する関空の土地などを新関空会社に貸し付け、新関空会社から賃貸料を受け取っている。JCRは格付にあたって、両会社を一体として評価している。運営権の売却（コンセッション）により、16年4月以降、関西エアポート株式会社が両空港を運営している。新関空会社は関西エアポートから支払われる運営権の対価を原資に債務の返済を進めるとともに、同社の空港運営に対するモニタリングなどを実施している。
- (2) 新関空会社、土地保有会社は関空の建設費に由来する多額の債務を抱えており、財務体質の改善を図ることが課題となっている。一方、法令上および人的な面からみた国との結びつきが強く、関空の競争力強化に向けた国の関与が明確であることなどが格付を支えている。格付の見通しは日本国の長期発行体格付の見通し「ネガティブ」を反映している。空港政策において関空の国際拠点空港としての機能の強化が重要な位置付けにあり、コンセッション後も関空、伊丹の円滑な運営等に向けた国の責務が明らかにされていることなどを勘案すれば、国の両会社に対する強い関与は継続していくとJCRはみている。
- (3) 一方で、今後関西エアポートのキャッシュフロー創出力が向上すれば、事業年度の収益に連動して支払われる負担金の増加につながるほか、同社の需要変動に対する耐久性の向上、成長投資による事業基盤・収益基盤の強化などの効果が期待される。これらは間接的に新関空会社、土地保有会社における債務の返済確実性を向上させるものと評価できる。新関空会社、土地保有会社の格付評価上、関西エアポートのキャッシュフロー創出力の動向にも注目していく。
- (4) 関空では中国路線を中心とする国際旅客便の増加を背景に航空機発着回数、航空旅客数は増加基調が維持されている。また、第2ターミナルの拡張による更なる航空需要の取り込みも期待されるなど、当面、関西エアポートは運営権対価などの支払いを十分にカバーするキャッシュフローを確保するとみられ、新関空会社、土地保有会社の債務も着実に削減が進むとJCRは判断している。

（担当）杉浦 輝一・南澤 輝

格付対象

発行体：新関西国際空港株式会社

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	AA	ネガティブ

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第2回社債（一般担保付）	150億円	2012年12月17日	2017年12月20日	0.299%	AA
第3回社債（一般担保付）	150億円	2012年12月17日	2022年12月20日	0.819%	AA
第4回社債（一般担保付）	100億円	2013年9月17日	2018年9月14日	0.392%	AA
第5回社債（一般担保付）	100億円	2013年9月17日	2023年9月15日	0.900%	AA
第6回社債（一般担保付）	100億円	2013年9月17日	2028年9月15日	1.445%	AA
第8回社債（一般担保付）	100億円	2013年12月18日	2018年12月20日	0.289%	AA
第9回社債（一般担保付）	100億円	2013年12月18日	2028年12月20日	1.231%	AA
第10回社債（一般担保付）	150億円	2014年9月17日	2017年9月20日	0.161%	AA
第11回社債（一般担保付）	100億円	2014年9月17日	2024年9月20日	0.629%	AA
第12回社債（一般担保付）	100億円	2014年9月17日	2029年9月20日	1.067%	AA
第13回社債（一般担保付）	100億円	2014年12月17日	2024年12月20日	0.506%	AA
第14回社債（一般担保付）	100億円	2014年12月17日	2034年12月20日	1.318%	AA
第15回社債（一般担保付）	100億円	2015年9月16日	2018年9月20日	0.101%	AA
第16回社債（一般担保付）	100億円	2015年9月16日	2035年9月20日	1.249%	AA

対象	発行予定額	発行予定期間	予備格付
発行登録債	2,300億円	2016年8月17日から2年間	AA

発行体：関西国際空港土地保有株式会社

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	AA	ネガティブ

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第6回社債（一般担保付）	100億円	2006年10月18日	2026年9月18日	2.70%	AA
第7回社債（一般担保付）	100億円	2007年9月21日	2017年9月20日	1.84%	AA
第8回社債（一般担保付）	100億円	2007年9月21日	2027年6月18日	2.38%	AA
第10回社債（一般担保付）	200億円	2007年10月31日	2017年9月20日	1.86%	AA
第11回社債（一般担保付）	200億円	2008年2月28日	2017年12月20日	1.68%	AA
第12回社債（一般担保付）	100億円	2008年2月28日	2027年12月20日	2.32%	AA
第13回社債（一般担保付）	200億円	2008年9月24日	2018年9月20日	1.72%	AA
第16回社債（一般担保付）	100億円	2009年2月20日	2018年12月20日	1.85%	AA
第17回社債（一般担保付）	50億円	2009年2月20日	2028年12月20日	2.46%	AA
第20回社債（一般担保付）	100億円	2009年9月24日	2019年9月20日	1.48%	AA
第25回社債（一般担保付）	100億円	2010年8月10日	2020年6月19日	1.361%	AA
第26回社債（一般担保付）	200億円	2010年10月26日	2020年9月18日	1.156%	AA
第29回社債（一般担保付）	100億円	2011年2月28日	2020年12月18日	1.538%	AA
第32回社債（一般担保付）	200億円	2011年9月21日	2021年9月17日	1.164%	AA
第35回社債（一般担保付）	100億円	2011年12月19日	2021年12月20日	1.207%	AA
第38回社債（一般担保付）	150億円	2012年2月28日	2021年12月20日	1.112%	AA

（注）上記の社債は、土地保有会社と新関西空社が連帯して債務を負う。

格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2017年2月23日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：加藤 厚
主任格付アナリスト：杉浦 輝一
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCR のホームページ（<http://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCR のホームページ（<http://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「財投機関等の格付方法」（2014年3月13日）として掲載している。
5. 格付関係者：
（発行体・債務者等） 新関西国際空港株式会社
関西国際空港土地保有株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCR に対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかなるものを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

用語解説

予備格付：予備格付とは、格付対象の重要な発行条件が確定していない段階で予備的な評価として付与する格付です。発行条件が確定した場合には当該条件を確認し改めて格付を付与しますが、発行条件の内容等によっては、当該格付の水準は予備格付の水準と異なることがあります。

NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ（<http://www.jcr.co.jp/en/>）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL : 03-3544-7013 FAX : 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル